

# 会 議 録

## 1 会議名

令和2年度第7回保倉区地域協議会

## 2 議題

### 【協議事項】

- ・令和3年度地域活動支援事業について（公開）
- ・自主的審議事項について（公開）

## 3 開催日時

令和3年1月27日（水）午後6時00分から午後7時16分

## 4 開催場所

上越市立保倉地区公民館

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 丸山隆夫（会長）、池田つえ子（副会長）、今井二三夫、梅澤恭子、荻原輝義、笠原純一、河瀬青志、佐野仁彦、佐野 宏、平原 保、宮崎邦夫、山本 均
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：中村センター長、小池係長、霜越会計年度任用職員

## 8 発言の内容

### 【中村センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【丸山会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：今井委員、梅澤委員に依頼

議題【協議事項】令和3年度地域活動支援事業について、事務局へ説明を求める。

【小池係長】

- ・資料No.1「令和3年度地域活動支援事業 保倉区の採択方針等について（案）」に基づき説明

【丸山会長】

それでは採択方針から順に決定していきたいと思う。

○採択方針：資料No.1のとおり、昨年度と同様とすることで委員の賛同を得る

○募集期間：4月1日（木）から5月7日（金）まで

○周知方法：資料No.1のとおり、昨年度と同様とすることで委員の賛同を得る

○補助率等：資料No.1のとおり、昨年度と同様とすることで委員の賛同を得る

○審査方法：資料No.1のとおり、昨年度と同様とすることで委員の賛同を得る

○その他：資料No.1のとおり、昨年度と同様とすることで委員の賛同を得る

それでは、令和3年度地域活動支援事業の採択方針等については、以上のとおり決定とする。

次に【協議事項】「自主的審議事項について」事務局から今後の進め方も含めて、説明を求める。

【小池係長】

- ・資料No.2「自主的審議事項について（委員からの提案）」に基づき説明

今まで2回に亘り皆さんから提案していただいた課題についての提案理由と補足説明をしていただいた。

本日は前回欠席されていた河瀬委員と梅澤委員から提案理由と補足説明をお願いしたい。

また、事務局から補足説明として「No.9 保倉区内の行政区・学校区の見直しについて」だが、担当課の危機管理課に避難所関係の確認をしたところ、頸城区の望ヶ丘団地と美しが丘団地の指定緊急避難場所は現在、保倉体育館になっているとのこと。そのため、その部分は解決されていると認識している。

学校区の見直しについては、頸城区を含めた課題になってくるので事務局としては、保倉区地域協議会がこれについて協議を進めることは手順などを考えると困難ではないかと思っている。

自主的審議のテーマの決め方だが、15項目のうち1つに決めるのは難しいと思うの

で、事務局で大きく4つに区分させていただいた中から何を優先的に掘り下げていくかを決めていただき、それを保倉区の審議テーマにしたらどうかと考えている。

**【丸山会長】**

では最初にNo.10の提案について、河瀬委員に説明を求める。

**【河瀬委員】**

避難場所に対して私の認識不足かもしれないが、保倉区とすれば保倉小学校の体育館だけというイメージがあるが他にもあるのか。あるとすれば、その辺を整理しなければいけないのではないかと。また、災害になると車等で移動できないと思うので、徒歩で避難できるような所が必要だと思う。高齢者が多いので高齢者でもスムーズに避難できる場所の確保が必要ではないかと思い提案した。

また、耐震構造とコロナ関係で3密が話題になっているが、収容人員がどの程度確保できるのか疑問に思っている。

**【丸山会長】**

No.13の提案について、梅澤委員に説明を求める。

**【梅澤委員】**

都市部と一緒に核家族に歯止めがかからないのは、やはり地域に魅力がないということ。それから、生活をしていて交通面の不便さもあるのではないかと思う。これを解決する改善策は市議会や市役所の人たちの協力がないと、なかなか前に進まないのではないかと思うが、現実がこうなので提案させていただいた。

**【丸山会長】**

すべての議案に対する説明が終わったので、全体を通じて提案者に質問、意見を求める。

**【河瀬委員】**

先ほども冒頭で質問したが、避難場所として保倉区は保倉体育館、保倉小学校以外にどこかあるのか。あれば教えていただきたい。

**【佐野宏委員】**

避難場所については町内会長が知っており、各ブロックで避難場所を決めてある。青野地区だと、上青野は三和区の美守小学校。上名柄、下吉野、長岡新田、五野井、石川は保倉小学校。上吉野、岡沢は緊急避難場所として上吉野愛宕の園である。

**【荻原委員】**

私は指定避難所が保倉小学校で、緊急避難場所が下青野と中青野、岡沢が上吉野愛宕の園だと聞いている。

**【佐野宏委員】**

緊急避難場所は細かく分離しているが、分布図ができていないはずである。最終的には保倉小学校に避難する予定だが、保倉小学校での備蓄品は5町内分しか用意していない。そのため、緊急備品の有無は町内会長に聞かないとわからない。

**【荻原委員】**

青野町内は上青野だけ美守小学校で、中青野と下青野は上吉野愛宕の園であり、毎年8月に1回会議をやっている。

**【佐野宏委員】**

市の担当者もブロック毎にいるはずである。町内会長に聞いてみてほしい。

私達の避難所は保倉小学校だが、原発の時はどうするのか。これはどうしようもない。正直、避難しても、しなくても一緒である。

**【丸山会長】**

他にないか。

**【笠原委員】**

先ほど、避難所が望ヶ丘団地と美しが丘団地が保倉体育館に変わっているという話をされていたが、保倉体育館は保倉区の住民も対象になっていない。それが何故望ヶ丘団地と美しが丘団地が対象になるのか。指定避難所は保倉小学校だけである。上越マテリアルは緊急避難場所としては指定されているが、保倉区の中にある保倉体育館や公民館、最近できたクリーンセンターがそばにあるのに緊急避難場所になっていない。私自身も村山市長に質問をしたことがあるが、良い回答はなかった。なので、先ほど言われた中で望ヶ丘団地と美しが丘団地が保倉川を渡らないで保倉小学校や保倉体育館が緊急避難場所や指定避難所になっているということで事務局から調べてもらったが、町内会長に、そういう話がきているのか。望ヶ丘団地と美しが丘団地で交流会をやっているが聞いたことがない。

**【佐野宏委員】**

多分、地元の人には知っているのではないかと。一昨年、避難勧告が出た際に保倉小学校の体育館へ行ったのは望ヶ丘団地と美しが丘団地の人達だけである。いつも痛い目にあっているから。保倉小学校に行けばヒーターや発電機、食料や毛布等も揃っている。

【笠原委員】

この公民館の体育館はそういう対象にはなっていないはずである。

【佐野宏委員】

備蓄品がないからではないか。

【中村センター長】

保倉体育館は指定避難所ではなくて緊急避難場所である。要は、小さい単位で一旦集まり、その後に指定避難所に移るという形になっている。担当課に確認したところ、望ヶ丘団地と美しが丘団地については、最終的な指定避難所がまだ定まっていないとのこと。今後、指定避難所をどこに定めていくのかは担当課に確認させていただきたい。

【笠原委員】

私としては一番納得できないのは町内会長協議会にきちんと了解を得ているのかどうかである。頸城区から言われたから保倉体育館にした等の安易な考え方でやっているのではないか。一番問題の学区をどうするのかと言っても何も返答がない。市役所の各担当で好きなようにやっていて、住んでいる人間が何も分からないというのはおかしいのではないか。

【丸山会長】

望ヶ丘団地と美しが丘団地が保倉体育館を緊急避難場所にしているのは私も初めて聞いた。今までそういう話は聞いたことがなかった。それが本当なら再度確認していただき、町内会長連絡協議会の会長に話をしてほしい。

また、地震の場合は仕方がないが、水害の場合、青野は高いところから低いところに避難してくるということになる。それを町内会長連絡協議会に話はするが、よく考えていただきたい。

他にないか。

【宮崎委員】

私は上青野に住んでいるが、緊急避難場所が美守小学校である。理由は3キロ以内が目安で保倉小学校は目安より遠い。しかし距離は何百メートルも変わらない。ただ、望ヶ丘団地と美しが丘団地の方々が保倉川を渡って保倉区へ来ると事情が違って問題点は全くなく、その3キロの線引きだけである。避難する時に知らない人たちばかりのところへ行けと言うわけである。だから、望ヶ丘団地と美しが丘団地の方々も、実際には災害がないから市の計画を了承しているというような考えでしかないと思う。美守小学校は

避難したことがあるが、周りは知らない人ばかりだった。それでは困ると思う。

このような意見もあるということを入れていただければと思う。

#### 【笠原委員】

災害があった時、望ヶ丘団地や美しが丘団地から保倉小学校に何人か避難してくるが、団地の役員の人たちがチェックに来ていない。公民館が古いから体育館へ避難するように町内に言っているから、役員の中で必ず1人は避難勧告があった時は体育館へ来るようにしている。

だから、その時点では頸城区から何人か来ていたが、お互い何事もなくやっていたという報告は聞いている。しかし、頸城区の役員は来ていない。それは問題だと思う。

今、宮崎委員が言うように保倉区も美守小学校が対象になっているが、そこへ住民が避難して来ても、何事もなく運営できるように誰か管理者がいなくていけないと思う。そのように指示してあるのであれば、そこが一番大事だと思う。避難して肩身の狭い思いしているのでは可哀そうである。

#### 【丸山会長】

私も役員をしていた時に何故知らない所へ行かないといけないのか、という話もあった。それをまた町内会長連絡協議会で説明をして区分けをはっきりしていただきたい。

他に意見等がないため、終了とする。

では、どのテーマを自主基審議事項として取り上げたらよいか、事務局で整理してくれた区分で4つのテーマの中から1つ選んで、挙手をしていただきたいが、提案していただいた内容は保倉区自体の話ではなくて、市と一緒に連携しなければいけない項目ばかりである。

#### 【池田副会長】

どのテーマも大事で、自分の身近なところの課題を挙げてもらった内容だと思う。そのため時間があれば一つずつ詰めていけば良いと思うが、昨日までこうだったけど、ここで話をしたら180度良くなったという話に持っていくのは大変難しい。ただ町内会長もいろいろな方向から話を詰めて話を進めていると思うが、私は地域協議会の立場で見方を変え、保倉区として、どのように取り組んだら良いかという方向へ持っていけば良いのではないか。そのため、どのテーマも、ある意味取り組めないのではないかなと思う。そういう考え方を含めて挙手していただいたらどうか。

#### 【丸山会長】

今、池田副会長が言ったように地域協議会でできることや町内会長連絡協議会に話して物事をできるような、微々たる小さいものでも良いわけである。

**【池田副会長】**

保倉まちづくり振興会の皆さんも、多分もう話はされている内容かとは思いますが、一番盛り上がったのが地域の安全である。いつ、何が起きるか分からないという環境の中にいるので、地域の安全について、もう少し話を詰めていっても良いのではないかと。

**【笠原委員】**

この中で選べと言われても難しいのではないかと、皆さん委員になって、こういうこと改善されれば良いという想いで意見を出していると思うので、私達が選べる問題ではない。地域協議会委員の1番の目的は毎年、市から配分される510万円の補助金に関する意見交換や管理なのではないかと。510万円を利用することで保倉区が少しでも良くなるように協議するための地域協議会委員だと思っている。

一つひとつの意見を見ても前へ進んでいくような意見は一つもない。みんな行政絡みである。

我々も4月から地域活動支援事業に提案されて出てきたものに対して、意見は言えるが、まとめろと言われても難しい。事務局ではどのようにお考えか。

**【小池係長】**

出していただいた内容は全て大事なテーマだと思っている。必ず本日決めてほしいというわけではない。来年度は5月くらいから地域活動支援事業の審査・採択があり、追加募集があれば秋ごろまで採択協議が入ってくると思う。

本日、無理に決めなくても、また来年度、日程調整ができれば地域の課題について協議していただく機会が持てるかと思う。

**【笠原委員】**

自主的審議事項については決めないほうが良いのではないかと。皆さんが意見を持っていることは事務局でまとめてくれたので、内容について市が、こういった形で動いていると確認すれば良いだけなのではないかと。

**【丸山会長】**

では、本日は決めないということによろしいか。

(賛同の声)

では、一旦保留とするが、今後も協議を続けていきたいと思っている。

地域協議会は市長の諮問機関だが、何の権限もない。ただ、市からのものに対して我々は目を光らしていきたい。

【笠原委員】

自主的審議も大事だと思うが、私が一番協議してほしいと思うことは上吉野池のハクチョウである。地権者の都合でハクチョウを飛来させないということで水を全て抜いたが、今まで地域活動支援事業の補助金を700万円も800万円もかけてきているのに、うやむやになっている。無駄遣いではないか。これをきちんとするべきではないか。

【丸山会長】

笠原委員の言われるのは分かる。上吉野池には補助金を投入して保全活動を行っていた。町内会長連絡協議会からそういう話が出なかったのか。

【佐野宏委員】

上吉野池は畦が壊れるので、費用を投入して整備させてほしいというので話があった。耕作者の立場だと、ハクチョウが来ると畦等いろいろな所を突かれるため非常に迷惑である。その一方で、保倉小学校の活動の一環でハクチョウが飛来してくるのを観察したり、マコモを植えたりしている。その板挟みの中で笠原委員が言われたように補助金を投入した。

保倉区の中部地区の運営管理委員会の会合の中で、いつも問題になっていたのは、ため池の件である。農家の代表の集まりだから「ハクチョウのために何故農家が泣かなくてはならないのか」という意見と「ハクチョウには飛来してほしい」という意見があったとのこと。

ため池の件に関しては、対策としてお金を投入してもらったので、まず水を払って畦を痛めるのを防ごうと私たち中部の役員では対応してきている。ところが一昨年、水を溜める時期が遅くなったので水がなくなってしまった。そのため去年から早めに水を溜めている。水を溜めるとハクチョウが来るのでハクチョウのせいだけとは言わないが、風で波が起きると畦を痛め、みんな削られていく。

こちらを立てれば、あちらが立たずというのが現状で、地元としては苦慮しながらやっている。水はどうしても大事なので、人の耕作権を取るのか、ハクチョウを取るのかという状況である。

上吉野町内では、池に対して地域協議会に迷惑をかけてはいけないということで「農地を守る会」で少しでも池の土を掘って何とか対応していきたいと考えて実施している。

**【丸山会長】**

中部の皆さんが板挟みになっていることは分かった。

**【笠原委員】**

ハクチョウが飛来してくるようになった最初の頃は何もなかった。その間に保倉小学校と上越教育大学から学生が来て、マコモを植えたり、餌までやったりして、小学校の子ども達もそれを楽しみでやっている状況だった。それが農家をとるか、学校をとるかというような形になり、それをどのような形に持っていこうとしているのかが分からない。ただ保倉小学校でハクチョウが来て何かをしたいと思って上越教育大学も、それに対していろいろな指導に入っていた。それを田んぼが大事だと言われたから、終わりになったとなると、保倉区としてはどうしてみようもないという感じである。

**【荻原委員】**

ハクチョウから飛来してもらうためには水を長く張っておかなければならない。そうすると、風で畦が崩れるので直す。そして地域活動支援事業の補助金だけでは間に合わなくなるので地元からも負担していただき直している。

そして、上吉野池から100丁歩ほどの田んぼに水を出している。ハクチョウは生き物なので糞をするため水が汚れてしまう。それをポンプアップしているから、悪い水をどんどん巡回している状態である。

**【丸山会長】**

水が溜まると畦が汚れるのではなく、大切な農作物に対して汚い水が流れていく。飼ってみて初めて分かったということだと思う。

では、自主的審議のテーマについては次回以降にさせていただく。

今後の協議の進め方について事務局へ説明を求める。

**【小池係長】**

上吉野池のハクチョウの件だが、以前、補助金を活用して池を整備がされたということは聞いている。地域活動支援事業は出てきた提案に対して、地域協議会の皆さんから採択審議をお願いしているが、今後、上吉野池をどういう方向に持っていくのかというような議論は、私がセンターにいる3年間には全くされていなかったと記憶している。

学校区の件は、これまでも保倉小学校を存続させたいとか、保倉区に家をもっと建てたい等の意見が何回か出てきており、望ヶ丘団地と美しが丘団地の話も意見をいただいている。だが地域協議会として一つの方向性を持って進めていこうという議論までには

至らなかった。

また、来年度以降に皆さんで協議していただき、自主的審議事項として審議していきたい課題等があれば、踏み込んで話し合いを行っていただきたいと考えている。

**【丸山会長】**

その他、委員の皆さんから何かございませんか。

**【河瀬委員】**

事務局へお願いだが、欠席された委員に次回の協議会等の案内を送付する際、前回の議事録の内容を一緒に同封していただければ非常にありがたい。

**【小池係長】**

承知した。

**【山本委員】**

今このコロナの問題で会合や行事等が縮小や中止となっている。その中で補助金は昨年どおりに配分されるのか。コロナの状況を見ながら事業を始めると思うが、それによっては提案項目を減らしたりするケースが出てくるのでお願いしたい。

**【中村センター長】**

来年度の地域活動支援事業補助金の額については、令和3年市議会3月定例会をもって決定となるが、現在のところ、大きな変更はない見込みである。

**【丸山会長】**

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。